



本当に住民のためになる施策か、しっかり審査したい

来年度予算案 ごみ有料化検討、駐輪場有料化・・・有料化と値上げだらけ?!

2023年は、「記録的な値上げラッシュの1年」。消費者物価総合指数は、前年度比3.2%上昇。実質賃金は前年度比マイナス2.5%。2年連続のマイナスです。(帝国データバンク調べ)このような時に市役所は何をなすべきか。住民の防波堤となつて、命とくらしを守る役割りを発揮すべき時です。

国崎センター持ち込みごみ 有料化検討

国崎センター持ち込みごみ しない駅もあるようで、住民の不便が増えます。

ところが、2024(R6)年度川西市 不公平・不透明チェック

の予算案では、住民を追い詰める 有料化や値上げラッシュが目白押しです。これから予算審査に入る段階で、十分な情報はこれからですが、まず、川西市の一般ごみの有料化への検討がはじまります。

既に、国崎クリーンセンターへの持ち込みごみの値上げは、先に行われた猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会・議員総会で説明があり、次期議会に値上げ議案が提出され、来年1月から実施予定となつています。(表①)

私(黒田)は、今の経済情勢の中で値上げはするべきではないと意見を述べています。一般ごみの有料化を検討するということですが、皆さんに情報をお伝えして、

「市役所の仕事は住民福祉の増進、くらしを支えること」を徹底していききたいと考えています。

駐輪場は4月から

4月から市内駅周辺の従来無料化だったすべての自転車等駐輪場が有料になります。周辺に放置自転車禁止区域が設定され撤去の対象になります。定期貸ししか

年間80万円の補助金を2025年度から廃止、と聞いて驚いています。一時金の補助は、新年度の新規雇用からに限られ、かつ継続3年目までしか対象になりません。したがって、現在雇用されている人、5年、10年がんばっている人は対象になりません。給与の逆転が起こる可能性があります。もしもしたら、補助金目当ての事業者が3年までの雇用ばかりを増やすかもわかりません。

まして、現在乳児保育実施への補助金80万円(1園)がなくなれば、さらに保育士等確保が厳しくなる、運営そのものが難しくなる園が増えてくるのではないのでしょうか。

新規事業で何か良いもののように映つても、実は裏があるといったことが他にもないか、予算委員会では、本当に住民のための施策になっているか、これから始まる予算審査でしっかりと審査していきたいと考えています。

次議会上程 R7年1月実施予定

表①国崎クリーンセンター持ち込みごみ料金

	現状	値上げ案
最初の50Kgまで	500円	据え置き
その後10Kgごとに	100円	150円

表②保育士等雇用継続一時金

	支給額
継続1年	10万円
継続2年	10万円
継続3年	10万円

3月25日 最終本会議 決定予定



市立病院改革調査特別委員会の所管事務調査で2月5日、川西リハビリテーション病院(旧市立川西病院横)と川西市立総合医療センター(火打)に出かけました。

川西リハビリテーション病院では、ていねいにお話しを伺いながら施設を見学、その後も質疑応答させていただきました。

一番驚いたのは、リハビリ場所の広さとADL(日常生活動作)ハウス(写真)が設置されていること。このハウスは、病院でのリハビリを終え、在宅・自宅へ移る際の患者ご本人やご家族の不安を和らげ、スムーズに在宅・日常生活へ移行できるよう設置しています。このため、家と同じような作りの中でリハビリをおこない、必要な用具などの支援についても相談。「家に帰りたい」という思いがリハビリを促したり、ADLハウスで自信をつけてから在宅移る、という流れは素晴らしいと感じました。

年末年始の応急診療所は、200人もの患者さんでいっぱいだったそうです。平日の午前中、内科と小児科では、当初できていなかった発熱外来もやっておられます。小児科の患者さんは、まだ少ないそうですが、内科は患者さんが増えているそうです。

配布されたパンフレットには、QRコード、固定電話の番号、10ページ立て・写真入りでよくわかります。植松正保理事長は、「これから、訪問医療・介護に取り組んでいきたい」など、この地でのやりたいこと、思いを熱く語っておられました。

市立総合医療センターでは、主に施設見学。広いフロアをそれぞれの担当職員の方にていねいな説明を受け、見学させていただきました。

入口は1か所ではなく、発熱時や救急の入り口など分かれています。外来受付が混雑しないように、紹介状を持った方とそうでない方の窓口を分けておられ、相談室なども設けられています。2階で様々な外来診療(オープンスペース)が行われています。

様々な検査や治療が院内で行われています。ICUやHCU、手術室、検査室、入院患者さんの処方薬剤を管理する最新の機械(写真)、全室個室のお部屋など見学するだけで時間が過ぎてしまいました。

現在、入院稼働率は9割を超えているようです。応需率が上がっているのは嬉しいことですが、市内の急病ベッドを158床減らしていますから、結局、救急の市外搬送が増えていないだろうか、と心配です。市内の医療状況は、調べてみなければなりません。特に、北部医療の確保・拡充が必要です。北部のまちづくり計画が進んでいきますが、医療や交通網の確保について、当初地域住民に約束していたことぐらい前進させてほしいです。一緒に声をあげましょう。

ADLハウス

薬の機械



病院見学

